

幌延深地層研究センターについて

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）幌延深地層研究センターは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発を行っています。

1. 地下施設整備の状況【図1、現在：維持管理中】

- ・立坑掘削深度：東立坑380m、換気立坑380m、西立坑365m
- ・水平坑道掘削長：深度140mの調査坑道186.1m、深度250mの調査坑道190.6m、深度350mの調査坑道757.1m

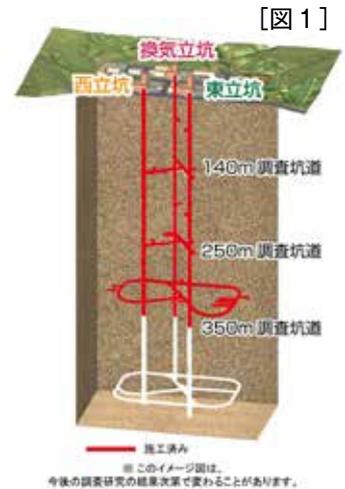
※令和2年度は、地下施設にて第3期中長期計画に掲げた次の3つの課題達成に向けた調査研究を進めます。

- (1) 実際の地質環境における人工バリアの適用性確認
- (2) 処分概念オプションの実証
- (3) 地殻変動に対する堆積岩の緩衝能力の検証

※稚内層深部（500m深度）における研究に関する検討について

令和2年度以降の研究成果を最大化するため、稚内層深部での研究の実施について判断材料を集めるための設計などを行っています。

「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」の研究課題の範囲内であることを前提とした上で、設計の結果などを踏まえ研究期間が「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」を前提とした研究工程におさまることや、技術基盤の整備により一層寄与できることを観点として今年度内を目途に判断をしていきます。



【図1】

2. 施設見学について

- ・ゆめ地創館：公開時間 午前9時～午後4時
定休日 毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は水曜日）、年末年始（12/29～1/3）
- ・ゆめ地創館来館者数：1,974名（令和2年6月～9月末）
※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点より令和2年2月末～5月末まで臨時休館。
- ・地下施設見学会：例年4月から10月の第4日曜日に実施しています。来年度も予定しており、地下を体験できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。
- ・地域の皆様を対象とした施設見学会：令和2年度は幌延町および近隣市町村の皆様を対象とした施設見学会を10月～3月の第3水曜日に実施しています。

3. ホームページ

幌延深地層研究センターのホームページでは、地下施設や調査研究の状況を適宜掲載しています。

◇ホームページURL：https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/index.html

4. 幌延深地層研究センターによる幌延町への経済効果

幌延深地層研究センターが平成13年に開所してから毎年度、地元への経済効果についてお知らせしています。同センターおよび関係機関から確認をとった平成31年度の実績は以下のとおりです。

このほか、同センターの地元雇用、従業員などの町内消費、町税収入、電源立地地域対策交付金などがあります。

5. 原子力立地給付金の交付について

電気料金の値上げなどに対する生活支援の観点から、電源立地地域対策交付金制度に基づき、交付金の一部を給付金として交付しています。

◇給付対象施設：幌延深地層研究センター

◇対象者：幌延町で令和2年10月1日現在、小売電気事業者と電気受給契約のある方（一般家庭における従量電灯や時間帯別電灯の契約）

◇交付金額：電灯契約1口あたり 8,100円

◇交付方法：電気料金振替口座への振り込みなど

◇交付時期：令和2年11月下旬以降

6. 幌延深地層研究計画に関する協定および条例について

北海道、原子力機構、幌延町の三者で締結した「幌延町における深地層の研究に関する協定書（三者協定）」と幌延町議会の議決を経て施行した「深地層の研究の推進に関する条例（町条例）」を順守して研究を進めています。

○平成31年度経済効果

職員および家族の人数		職員等53名 家族22名	
機 構 発 注	工事請負、業務委託、 物品購入、借上、その他	85百万円	
	社宅・寮賃貸借契約	57百万円	
機 関 発 注	↓ 共同研究	工事請負、業務委託、 物品購入、借上、その他	193百万円